



■各施設

施設 (電話番号：市外局番 0790)	休業期間	備考	
市役所 ☎42-1110	12月29日(金)～1月3日(水)	出生届、婚姻届、死亡届、斎場の予約は、休業中も市役所東側宿直室(※1)で受付しています。 住民票・印鑑登録証明書等の自動交付機は12/29～1/3は休止します。	
斎場 ☎44-0760	1月1日(月)・2日(火)	使用予約は年末年始も上記※1で受付	
加西病院 ☎42-2200	12月29日(金)～1月3日(水)	救急外来は通常どおりです。	
収集カレンダーによる収集	ごみ収集 ☎46-0602	12月30日(土)～1月3日(水)	ごみカレンダーで確認ください。
	し尿収集 ☎46-0334	12月29日(金)～1月3日(水)	し尿収集を12月28日(木)に希望される方は、12月26日(火)までに申し込みください。
加西市クリーンセンターへの ごみの持ち込み ・粗大ごみ、埋立てごみ、資源ごみ ※可燃ごみの持ち込みはできません ☎46-0602	12月30日(土)～1月3日(水) ※12月24日(日)8:30～11:30は第4日曜日開場日です。 ※12月29日(金)8:30～16:00(11:30～13:00除く)は年末特別開場日で受け入れを行っています。	年末は混雑しますので、早めのゴミの持ち込みと、2t車以上の持ち込みはご遠慮ください。また、排出元(家庭、事業所)での、ゴミ分別にもご協力をお願いします。	
小野クリーンセンターへの ごみの持ち込み ・可燃ごみ、粗大ごみ ※埋立てごみの持ち込みはできません ☎0794-62-6250	12月30日(土)～1月3日(水) ※12月29日(金)8:30～16:30は年末特別開場日で受け入れを行っています。	年末は混雑しますので、年末特別開場日までに早めのゴミの持ち込みをお願いします。受付時には、身分証(免許証等)の確認が必要になります。	
地域交流センター ☎42-0106	12月28日(木)～1月4日(木)	住民票・印鑑登録証明書等の自動交付機は、期間中は休止します。	
図書館 ☎42-3722	12月28日(木)～1月4日(木)	本を返すときは返却ポストへ。	
加西市ふるさとハローワーク ☎42-7600	12月29日(金)～1月3日(水)		
市民会館 ☎43-0160	12月28日(木)～1月4日(木)		
健康福祉会館 ☎42-6700	12月28日(木)～1月3日(水)		
勤労者体育センター 加西テニスコート アラジンスタジアム 市民グラウンド 多目的グラウンド ☎47-1420	12月28日(木)～1月4日(木)		
すばーく加西 ☎42-6302	12月28日(木)～1月4日(木)		
アクアスカさい ☎42-3465			
加西南テニスコート ☎49-3870			
オークタウン加西 ☎44-2595			
中央公民館 ☎42-2151 善防公民館 ☎48-2643 南部公民館 ☎49-0041 北部公民館 ☎45-0103	12月28日(木)～1月4日(木)		

■公共交通機関

公共交通	運休期間	
コミバス KASAI ねっぴ〜号 ☎42-0056	12月30日(土)～1月3日(水)	 
はっぴーバス ☎44-0150	12月29日(金)～1月3日(水)	
北条鉄道 ☎42-0036	12月30日(土)～1月3日(水)	

産婦人科の現状 閉鎖の危機

平成 29 年 9 月に、長い間加西市の産婦人科医療を支えていた廣瀬先生が退職されました。残る常勤医師は、2 人です。この体制では、365 日昼夜を問わず危険と隣あわせの



マタニティーの個室

産科医療を維持できないため、院長に産科病棟閉鎖も視野に入れた状況報告をしました。

全国的にも 3K の産婦人科を若い医師が専攻することは多くなく、女性医師の比率も高くして出産子育てのためのキャリア中断もあり、また、当直の無い不妊症専門クリニックに勤める医師も多いため、緊急対応、当直ができる若い医師が不足しています。従って、全国各地で分娩取り扱い施設の減少が続いています。加西病院の産科も、ついに終了かというところまでできました。

加西病院で産科を維持することは加西市にとっては悲願に近いと病院・市と折衝中感じました。ダメもと、最後のお願いと、インターネット上で産婦人科常勤医の募集をしたところ、奇跡的に立派な経歴の医師が応募されました。たまたまその病院の産科が人員の減少で維持で

きなくなったためです。つまり、二つの産婦人科が合わさって一つになったわけです。キャパシティは減っていますので兵庫県、日本全体でみると喜んではいけないことがわかります。新しい医師を迎えて、1 月からは再び常勤三人体制で頑張ります。

60～70 歳の医師がこれからどんどん引退していきます。若い医師が産婦人科を専攻して増えていかなければ、世界最高の安全性を誇る日本の産科医療は崩壊



分娩室

の危機にさらされ続けます。厚生労働省も施設の集約化など、考えてはいますが、救急、産科当直対応の医師を増やす抜本的な対策はなかなか難しいのが現状です。

年間 100 万弱の分娩で、毎年 50 人前後の妊産婦死亡があります。産科の危機的出血は 1000 に 1 つの割合とされていますので、加西病院では 4 年に 1 回は当たる割合になります。その少し前はずっとあり、産科医師が関与しない分娩では、危険率が上がります。

晩婚化、高齢妊娠、危険率の増加という要因からも少子高齢化が進んでいます。人口を維持するためには、国を挙げての抜本的な改革が必要な時期にきています。

(産婦人科 菅原正人)

忘れていませんか？ 子どもの予防接種

問合先／健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723
FAX42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

対象の方で接種されていない方は、早めに接種しましょう。

■ 予防接種対象者

予防接種名	回数	対象者 (法的な接種年齢)
麻しん・風しん混合 (MR)	1 期	1 回 1～2 歳未満 (2 歳の誕生日の前日まで)
	2 期	1 回 年長児 (平成 23 年 4 月 2 日～24 年 4 月 1 日生まれ)
二種混合 (DT) (ジフテリア、破傷風)	1 回	小学 6 年生 (11～13 歳未満) ※ 13 歳の誕生日の前日まで
日本脳炎	1 期初回	2 回 3 歳 (3～7 歳 6 カ月未満)
	1 期追加	1 回 4 歳 (3～7 歳 6 カ月未満)
	2 期	1 回 9～10 歳 (9～13 歳未満)
	特例措置	回数は 4 回接種のうち不足分 (母子健康手帳で確認してください) ※平成 9 年 4 月 2 日～19 年 4 月 1 日生まれの方を対象に、20 歳未満まで接種可能

■ 接種方法／加西市指定医療機関 (広報かさい 4 月号 または市ホームページ) へ電話予約してください。

■ 接種費用／無料

■ 接種に必要な物／母子健康手帳、体温計、健康保険証 (本人確認のため)、予診票 (医療機関または健康課にあります)